豊田市長　太田　稔彦　様

高橋地域会議　提言書

高橋地区地域会議委員

	氏　　名	ふりがな	所属母体等	備考
高齢者支援	今井　尚	いまい　ひさし	平井町自治区	会長
	青山　光	あおやま　ひかる	池田町自治区	
	天野　泰弘	あまの　やすひろ	高橋地区区長会	
	安藤　彰浩	あんどう　あきひろ	県営初吹自治区	
	今井　ひろみ	いまい　ひろみ	手呂町自治区	
	塚原　千紘	つかはら　ちひろ	高橋地区二十歳の集い 実行委員会	
	増田　純江	ますだ　すみえ	高橋交流館 （子育てｻﾎﾟｰﾀｰ）	
	山内　秀則	やまうち　ひでのり	上野自治区	
担い手不足	池田　覚	いけだ　さとる	岩滝町自治区	副会長
	青山　昇	あおやま　のぼる	コミュニティ会議	
	小野田　泰士	おのだ　たいじ	消防団第２方面隊第１分団	
	折田　義幸	おりた　よしゆき	美和町自治区	
	加藤　京子	かとう　きょうこ	高橋スポーツクラブ	
	黒野　剛司	くろの　こうじ	百々自治区	
	柴田　淳二	しばた　じゅんじ	高橋自治区	
	那須　義崇	なす　よしたか	山中町自治区	
	村山　雄司	むらやま　ゆうじ	扶桑町自治区	

高橋地区における
地域課題解決に向けた豊田市への提言

高橋地区は、豊田市の中でも自然環境が豊かで、地域の歴史や文化が色濃く残るエリアです。伝統的な祭りや行事も多く、地域住民が一体となって参加するイベントが各地で開催されています。例えば、秋には地域のお祭りがあり、地元の人々が集まり、伝統的な踊りや音楽を楽しむ姿が見られます。これらの行事は、地域の絆を深める重要な機会となっています。

しかしこの地域においても高齢化の影響は大きく、日常生活や地域活動において様々な問題を実感するようになってきました。

令和６年４月より高橋地域会議委員となった私たちは、これまで住民の意見を持ち寄り、地域の課題解決に向けた話し合いを進めてきました。その中で特に２つの課題について、具体的な提言をまとめました。これらの提案が、市の施策に反映されることで、地域全体の活性化につながることを期待しています。

令和７年４月３０日

高橋地域会議　会長　今井　尚

高齢者になっても安心して幸せに暮らせる地域を目指して【高齢者支援】

【現状】

令和７年２月１日時点の高橋地区の高齢化率は 24.9%で豊田市全体の高齢化率24.8%とほぼ同じ値となっていますが、今後、さらなる高齢化が見込まれます。

高橋地区と市中心部を結ぶバス路線は存在しますが、バスの通っていないところも多いため、比較的若い高齢者でも数年後に運転免許証を返納した後、買い物や通院など生活に欠かせない地区内や近隣地区への移動が困難になるのではないかと不安を感じています。

また、コロナ禍を経て地域住民同士の交流の機会も減少傾向にあり、孤独を感じたり孤立したりする高齢者が増加することが懸念されます。

【目指すべき姿】

私たちは、高齢者になっても安心して幸せに暮らせる地域を目指します。

具体的には、買い物や通院などの移動手段が確保されて高齢者でも自立した生活を送れる環境が整っていること、また、住民同士が気軽に交流できる場が充実しており、地域コミュニティの絆を深めることができる環境にあることです。

こうした地域で、高齢者が孤独、孤立の状態とならず、生き生きと生活でき、地域全体が活性化することを目指します。

【問題点】

1　運転手不足等の社会情勢を考慮すると、今後、公共交通が充実する可能性は低く、運転免許を返納した後、買い物や通院が困難になる高齢者が増えるおそれがある。

2　住民同士の交流の機会が減少し続けると、高齢者同士や高齢者と他の世代のつながりが希薄になり、孤独・孤立となる高齢者が増加する恐れがある。

【解決策】

高橋地域会議としては、５年後、10 年後を見据えて以下の取組に早期に着手するべきであり、各自治区等の考え方、事情にあったスタイルで取組を進めていくことが必要だと考えています。

つきましては、豊田市においては、本取組に対する支援、協力をお願いします。

1　ボランティアにより高齢者の買い物、通院等を支援する共助交通の仕組みの導入に向けた検討と実施体制の構築

2　定期的な交流イベントの開催、地域の特性を活かしたボランティア活動や地域貢献活動の推進など、高齢者同士、高齢者と他世代が交流する機会の提供とその周知

自治区活動に参加しやすい環境が整った地域を目指して【担い手不足】

【現状】

豊田市における自治区の取り組みは、地域の特性を生かした活動を通じて、住民が安心して暮らせる環境を整える重要な役割を果たしています。この自治区の組織は、しっかりと機能することで地域全体の発展と持続可能な社会の実現につながる不可欠な存在であると認識しています。

しかし現在、高橋地区では、自治区役員の担い手不足が深刻な問題となっています。多くの住民が働きながら地域活動に参加することが難しく、役員を引き受けることができない状況となっており、地域活動や行事の運営が滞ることが懸念されています。

また、市からの依頼事項が多く、自治区の負担が増大しているため、役員の負担感が一層強まっており、役員のなり手不足に拍車をかけています。

これらの状況の中で、地域の活力が失われ、住民同士のつながりも希薄になってしまう恐れがあります。

【目指すべき姿】

私たちは、様々な立場の人が自治区活動に参加しやすい環境が整った地域を目指します。具体的には、自治区事務の支援体制の充実や効率化（デジタル化など）を進めることで、役員の負担を軽減し、働きながらでも役員を引き受けられる体制を構築することが求められます。また、市からの依頼事項を見直し、必要最小限に削減することで、自治区の負担を軽減することも重要です。

【問題点】

1　役員の業務負担が大きく、役員の引き受け手を選任することがさらに困難になっている。
2　市からの依頼事項が多岐にわたり、本来の自治区業務運営の支障となっている。
3　デジタル化が進んでいないため、手作業による負担が続いており、業務の効率化が図れていない。

【解決策】

高橋地域会議としては、自治区活動が円滑に運営されるため、以下の解決策を提案します。

豊田市においては、本取組に対する支援、協力をお願いします。

1　自治区事務（地区区長会含む）の運営支援
2　市からの依頼事務の見直し
3　自治区事務の効率化を図るためデジタル化を促進